

令和4年度

事業計画書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

社会福祉法人 慈童会

目 次

| | |
|-------|---|
| *法人本部 | 1 |
| *管理部 | 3 |
| *事務所 | 5 |

社会福祉事業

| | |
|-------------------|----|
| *特別養護老人ホーム | 6 |
| *くすのき園短期入所生活介護事業所 | 7 |
| *くすのき園通所介護事業所 | 8 |
| *くすのき園訪問介護事業所 | 9 |
| *居宅介護事業所くすのき園 | 10 |
| *グループホームくすのき園 | 11 |
| *くすのき保育園 | 12 |

公益事業

| | |
|----------------------------------|----|
| *鈴鹿第4地域包括支援センター 鈴鹿第4介護予防支援事業所 | 13 |
| *くすのき園居宅介護支援事業所 | 14 |
| *北部認知症初期集中支援事業 | 15 |
| *研修計画 | 16 |
| *年間行事予定一覧表 | |

社会福祉法人 慈童会

1. 本年度目標

2030年度までの達成を目指しているSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みが国際的に言われている中で、日本では「地域共生社会」の実現に向けて地域住民や関係機関等の多様な主体がつながり、地域を共に創るための活動が推進されている。これらは、私たち社会福祉法人のあり方に共通する考え方であり、当法人の施設・各事業所の運営とともに、これらの施策に積極的に取り組む実践者として力を発揮し、地域に積極的に貢献していくことが求められている。このような中であって、新型コロナウイルスの未曾有の感染拡大が続いており、近隣の高齢者施設や医療機関、学校・保育園に至るまで大きな混乱が生じ、事業活動にも様々な制限を受けることとなった。

本年度は、その分を取り返すべく、職員一人一人が地域におけるセーフティネットとしての役割を担っていることを認識し、社会福祉サービス事業の実践者としての力を発揮し、一丸となって行動していきたい。法人理念である「慈しむ心を育む」とは、「自分を育て、人（相手）を育てること」を意味する。

社会福祉法人慈童会はこうした、共通認識に立ち、以下の重点課題に取り組む。

2. 重点的取り組み

(1) 上質なサービスの提供

- ・各事業所のサービス提供方針及び標準マニュアルを明文化し職員に浸透、共有する取り組みを実践するとともに定期的に見直す。
- ・職員の専門知識の習得や資格取得、技術向上のために体系的な教育・研修プログラムを策定し、確実に実施する。
- ・福祉サービス利用者やその家族等の声を積極的に聞き取り、サービス改善に繋ぐことで、利用者や家族等の満足度を向上させる。
- ・PDCAサイクルを意識して検証や改善に取り組むとともにその効果を確認する。

(2) 経営基盤の強化

- ・財務指標に基づく経営分析を行い、法人全体、事業所ごとの財務状況を把握する。
- ・法人の事業運営を法令、定款等に従って計画的・効率的に行うとともに、法人の経営状況と財務状況を正確に把握し、透明性のある財務管理を行う。
- ・業務の価値を高めるための生産性の向上を図る。
- ・職員に対するコスト意識を醸成する。

(3) 地域とのかかわり

- ・高齢・障害・保育等の対象者ごとに提供する福祉サービスについて、多様化・複雑化するニーズに対して柔軟に対応する。障害児の受け入れや、課題の多い障害高齢者の受け入れなど、困難事例にも積極的に取り組む。
- ・地域ニーズに対応し、多様な福祉サービスを提供してきた実績を生かし、また、施設・設備や専門人材を活用して、地域課題を包括的にもれなく受け止めるとともに、住民主体の課題解決に向けて取り組むきっかけや場を提供する。

(4) 職員満足度向上

- ・ワークライフバランスに配慮した働きやすい職場環境をつくる。
- ・職員間の人間関係を良好にし、働き甲斐のあり、魅力ある職場風土づくりを行う。
- ・採用後3年未満（特に1年未満）の職員に対するフォローアップ体制を計画的に行う。

- ・労働災害防止策を講じる。

3.会議

(1) 理事会

- ・令和3年度 事業報告及び決算の決議 令和4年 5月
- ・令和4年度 中間状況報告及び補正予算の決議 令和4年11月
- ・令和5年度 事業計画及び予算の決議 令和5年 3月

(2) 臨時理事会

必要に応じ随時

(3) (定時) 評議員会

- ・令和3年度 事業報告及び決算の決議 令和4年 6月
- ・令和4年度 中間状況報告及び補正予算の決議 令和4年11月
- ・令和5年度 事業計画及び予算の決議 令和5年 3月

(4) 臨時評議員会

必要に応じ随時

4. 監査

- (1) 定例監査 財産及び事業の執行状況及び決算監査 令和4年 5月
- (2) 臨時監査 財産及び事業の執行状況 必要に応じ随時
- (3) 内部経理監査 全事業所収支状況 必要に応じ随時

5. 表彰

- (1) 永年勤続表彰 令和5年 2月

6. 組織図・職員構成

- (1) 社会福祉法人 慈童会 組織図 別紙
- (2) 令和4年 4月1日 職員数 別紙

【 管理部 】

本年度目標：社会福祉法人慈童会に関わる全ての人の幸福度追求

1. 上質なサービスの提供

・理念と私たちの誓い浸透

理念、方針、中長期計画、ビジョンの再周知を図り、理念を日々の行動の中に反映するとともに、理念の実現に向けて行動する。

全職員を対象とした理念の研修を、一人につき年1回受講する。

2. 経営基盤の強化

・ガバナンスの強化のための内部統制管理

法令遵守、財務報告、業務の有効性、資産の保全の達成のために、各職員から決裁者までプロセスと権限を明確にし、遂行する。

財務・経理、総務・人事、広報、情報管理を備え、法人の経営方針や経営判断に寄与する。

・人材の確保・育成・定着

現状分析をもとに、必要な人員の採用と事業継続に向けた計画的若年層の採用。

魅力ある職場づくりを行い、求職者に適切な方法で発信する。

人事考課制度に則り、職階層に応じた教育を体系的に行う。将来のキャリア形成に繋げる。

・業務の効率化

TO DO LISTの活用・業務の細分化・見える化を図り、生産性向上に努める。

職員の長所を伸ばす業務に徹し、業務の好循環を図る。

3. 地域との関わり

・地域への広報活動

事業所発表会をWEB・対面等で行い、地域の方々へ情報の発信を行う。

近隣の自治会・関係機関への広報誌の配布を行う。

・緊急時の柔軟な対応

地域の困りごとの相談窓口としての周知を図り、地域に頼られる施設となる。

虐待・ネグレクト・緊急時に各種サービスを活用し、受け入れを行う。

・地域との共存

法人周辺の清掃活動を実施し、環境整備に努める。

防災避難訓練を周辺地域住民と一体で行い、地域との連携を強化、自然災害や有事に備える。

介護予防教室・出前講座等の実施により、地域の方々の介護予防に努める。

4. 職員満足度向上

・安心・安全な職場環境への整備

受容・承認できる職場風土への転換し、働きがいと成長の場としての職場にしていく。

一人一人の想いに耳を傾け、行動を認め、肯定的な言葉で承認する。

新人職員の定期的な面談を実施し、離職ゼロを達成する。

・ワークライフバランス

仕事とプライベートも充実した調和の実現に向けて一層積極的に取り組む。

長時間労働、休日労働の抑制、年次有給休暇の取得を促進する。

リモートワークの活用を促進する。

【 事務所 】

本年度目標：働きやすい職場への支援

1. 上質なサービスの提供

・ 正確な事務処理

介護報酬請求事務はルールを守り期日までに正しく請求を行う。最低2回見直しを行い、間違いを見つけた目を養う。過誤返戻は各事業所年間2回までに抑える。

就業規則に則り、勤務表の予定実績を作成し、正しく勤怠管理を行う。

各部署全体に正しい内容が正しく伝わる報連相を行う。

・ 良質な接遇

利用者様、来客者様を迎える第一の受付として、好印象を与えられる接遇を接客・電話対応ともに行う。

受付に対する苦情はゼロとする。

2. 経営基盤の強化

・ 残業の抑制

職務分掌と情報共有、優先業務のスケジュールリングにより、月平均3時間未満の時間外とする。

・ 5S活動・5T活動の推進

電話受信時の人を探す時間を減らすため、部署内外への報告連絡を徹底する。

必要物を探す時間を減らすため、整理整頓、躰を徹底するために、定位置のラベリングを推進する。

・ 勤怠管理ソフト導入により労務管理の法令遵守の徹底及び集計計算作業の効率化、管理略化を図る。

3. 地域との関わり

・ ホームページを更改する

発信力を高めるホームページに更改する。

広報委員会とタイアップし、コンテンツの見直しを図る。情報発信の質を高め、量を増やす。

全事業所から毎月1回以上の記事を集め、それぞれアップする。

・ 認知症カフェの開催

毎月30日にグループホーム地域交流スペースにおいてカフェを開催する。

4. 職員満足度向上

・ 感謝を言葉にして伝える

周りの人の努力を褒め、感謝し、認めることを毎日の習慣にし、職場環境風土の改善に供与する。

・ コミュニケーション力を向上させる

相手の人に共感し、意図を理解するスキルを磨き、積極的に他職員を知ろうとする。

まず受容と共感姿勢を持ち、どのように物事に対処しているか聞くことを増やす。

・ 自己成長

新しい情報やプロセス、アイデアにアンテナを張り、知識を更新、アップデートする。

【 特別養護老人ホーム くすのき園 】

本年度目標：ひとりひとりが大切な人

1. 上質なサービスの提供

- ・小集団介護を行うことにより利用者様主体の個別ケアを実施する。
- ・職員間で情報共有を行い、ケアプランに沿ったケアの統一を図る。
- ・介護役職者や多職種が集まって会議を行い、方針について話し合う。(令和4年4月～第1火曜日)
- ・接遇マナーを向上し、利用者様、家族様との信頼関係を作る。
- ・ICTを活用、推進していく。(移乗機器、インカム、タブレットの活用)
- ・リスクマネジメントを推進し、事故防止に努める。(ヒヤリハットを活用) 事故は月10件未満とする。
- ・上質なサービスと丁寧な説明を行い、苦情発生件数ゼロを達成する。
- ・職員全体会議を行う。(年1回以上)

2. 経営基盤の強化

- ・稼働率97%以上の確保。
- ・入院者数を減らし、月平均1%とするために、肺炎予防等入院しない為の介護実践の継続。
- ・特養待機者様の定期的な見直しを行う。待機状態を把握し、事前面談をスムーズに行い、退所後の空床はひと月当たり7日とする。
- ・日用品のコスト削減の意識を持ち、月2万円を削減する。
- ・コロナウィルス感染症対策のため、換気や消毒の徹底をする。

3. 地域との関わり

- ・今まで培ってきたケアのノウハウを施設入所者様だけでなく、地域の高齢者、在宅の要介護者の方々にも提供し、ケアの連続性の中で特養と地域のつながりを持つ。出前講座の講師を年間3回務める。
- ・地域の方々と顔を合わせた際には笑顔で元気よく挨拶をし、顔の見える関係性をつくる。
- ・定期的な防災訓練に参加し、福祉避難所としての役割を果たす。

4. 職員満足度向上

- ・小集団介護をすることによりお互いが切磋琢磨できる職場づくりをすることで職員の定着につなげる。
- ・年間一人4回以上の1on1ミーティングを行い、信頼関係を構築する。
- ・人事考課を用いてチェックと個別面談を行い、人材育成をする。
- ・介護福祉用具を活用し利用者・介護者共に安全で安心できる介護を実践する。
- ・施設内勉強会やリモート研修・外部研修に参加の機会を確保する。研修に参加した職員は研修伝達会を行う。一人当たり15分研修を毎月2回受講する。
- ・有給休暇と公休を組み合わせることで連続休暇計画的に取得する。有給休暇は6日以上を取得する。

【 くすのき園短期入所生活介護事業所 】

本年度目標：利用者様と家族様の信頼・理解を深めケアの質の向上を目指す

1. 上質なサービスの提供

- ・利用者様・家族様のニーズに沿った柔軟な福祉サービスの実施をする。
- ・家族様との情報共有を密にし、在宅生活の継続に繋げる。
- ・送迎時に主介護者の悩みや思いを傾聴し、ニーズを引き出し、計画書に反映しサービス向上につなげる。
- ・持ち物管理を徹底し、忘れ物ゼロを達する。
- ・個別ケアに向けた介護の実践でケアの質の向上を図る。
- ・施設内外の研修に参加し、知識・技術の向上に努める。園内 15 分研修は毎月 2 回受講する。
- ・リスクマネジメントを推進し、事故防止を図る。苦情発生件数ゼロとする。
- ・接遇マナー向上に努め、利用者様・家族様との信頼関係を築く。
- ・交通法規を遵守し、安心・安全な送迎で無事故、無違反を達する。
- ・利用者様満足度調査を行い、年度末に振り返り、不満者ゼロとする。

2. 経営基盤の強化

- ・稼働率、97%を達成する。
- ・居宅介護支援事業所と連携を密にして、新規利用者様を年間 30 名獲得し、情報の共有を図る。
- ・空室状況を一覧表にし、各居宅介護支援事業所へ毎月 2 回持参する。
- ・法令を遵守し、個人情報やプライバシー保護を徹底することで、人権尊重に徹する。
- ・感染症対策として、手指消毒、居室と送迎者の清掃と換気を徹底し、感染予防をする。

3. 地域との関わり

- ・住み慣れた地域で生活が送れるように、自宅における生活と、利用中の生活に差異がないよう配慮し、自立支援に向けて取り組む。
- ・措置入所や緊急時の受入体制を強化する。
- ・医療・地域・介護と連携、情報共有し、地域と連携し利用者様を支える施設であり続ける。

4. 職員満足度向上

- ・5S 活動に取り組み、業務効率の向上、安全性の確保、快適な職場環境を目指す。
- ・メンタルヘルスケアを実践し、職員の心身の健康だけでなく、生産性向上に努める。
- ・災害に対応するために、平常からの準備や法人内の訓練等に参加する。
- ・パワハラ・セクハラ防止規程を守り、職員が安心して働ける環境を作る。
- ・有給休暇 6 日以上取得の推進。有休と公休を合わせた連続休暇を計画的に取得する。

【 くすのき園 通所介護事業所 】

本年度目標：ONE FOR ALL ALL FOR ONE ～みなさんとともに～

1. 上質なサービスの提供

- ・利用者様だけでなく家族様へも目を向ける。利用者様・家族様が何でも相談できるようにする。
- ・社会性交流を進め、利用者様と寄り添い、満足いただける時間をつくる。
- ・当たり前が当たり前（利用者様の笑顔が増え、相談等）できる。
- ・利用者満足度調査の実施。

2. 経営基盤の強化

- ・平均利用者数 30 名/日。
- ・1回/週のノー残業デーの実施・定着・意識づけ。
- ・各種加算の継続取得をしていく。
- ・備品のコスト削減の意識を持ち、購入業者の見直し・適正価格での購入。
- ・安全運転を行い、交通事故ゼロを達成する。

3. 地域との関わり

- ・広報誌の配布。（近隣地域自治会）
- ・予防教室の参加。
- ・若松地区の奉仕活動実施。1回/年
- ・作品展の実施。1回/年

4. 職員満足度向上

- ・職員同士で相談できる環境を整える。
- ・長所を活かせるようにする。（悪い所を見るのではなく、良い所を見る）
- ・相手のことを尊重できるようにする。職員一人一人を認め合える職場づくり。
- ・福利厚生の見直し。（愛社精神の向上）
- ・法人理念、私たちの誓いの落とし込みを徹底する。
- ・法令順守の留意事項の活用および改定する。
- ・全職員が相手に不快の思いを感じさせないようにする。
- ・自立、自律を大事にする。任されている仕事は自分で責任をもってできるようにする。
- ・信頼、相手の助言や指摘を素直に受けられる人材を創る。指摘されたことに感謝出来る信頼関係を構築する。
- ・チームワークを重視する。全員のことを自分ごとで考えられるチームを作る。
- ・職員の定着（サポートチーム）を図る。相談相手を創り・採用する。
- ・資格取得をする。（社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士）

【 くすのき園 訪問介護事業所 】

本年度目標：利用者様の安心安全な介護の実践

1. 上質なサービスの提供

- ・利用者様・職員間で情報共有を行い、計画書に沿った統一したケアを行う。
- ・利用者様の要望があった時は、事務所に持ち帰り（その場で解決しない）事業所内で検討し、利用者様にとってベストな支援ができるように関係機関と連携を図り対応をしていく。

2. 経営基盤の強化

- ・利用者様が住み慣れた場所で生活していくために身体介護（自立支援）を推進（8割以上）。
- ・事業所から半径15分圏内の利用者様（9割以上）を集客。移動時間を減らし、多くの支援に入る。
- ・安全運転を心がけ、交通事故ゼロを達成する。

3. 地域との関わり

- ・地域の回覧板にヘルパー事業所の広報誌を配布。（2回/年）
- ・包括と協力して民生委員・地域の高齢者との連携を図る。結果として、地域の方々が安心して生活できるように支援を行う。

4. 職員満足度向上

- ・インディード、ハローワーク等の求人媒体を活用した人材採用。
- ・介護技術の取得。専門職（オムツフィッター、看護師等）に依頼し定期的に研修を受ける。
- ・ヘルパー会議の開催（1回/月）
- ・有給休暇の取得推進（年6日以上）
- ・風通しの良い職場環境

【 居宅介護事業所 くすのき園 】

本年度目標：利用者様の安心安全な介護の実践

1. 上質なサービスの提供

- ・利用者様・職員間で情報共有を行い、計画書に沿った統一したケアを行う。
- ・利用者様の要望があった時は、事務所に持ち帰り（その場で解決しない）事業所内で検討し、利用者様にとって最適な支援ができるように関係機関と連携を図り対応をしていく。
- ・利用者様、家族様の未来を創造したケア（利用者様がこうなりたい）を共に行う。

2. 経営基盤の強化

- ・利用者様が住み慣れた場所で生活していくために身体介護（自立支援）を推進。（8割以上）
- ・事業所から半径15分圏内の利用者様（9割以上）を集客。移動時間を減らし、多くの支援に入る。
- ・安全運転を心がけ、交通事故ゼロを達成する。

3. 地域との関わり

- ・地域の回覧板にヘルパー事業所の広報誌を配布。（2回/年）
- ・障がい福祉課・支援センター・支援相談員との連携を図り、地域の方々が安心して生活できるように支援を行う。
- ・保育・療育センター・行政との関わりを強化し、地域のニーズも含めて対応していく。

4. 職員満足度向上

- ・インディード、ハローワーク等の求人媒体を活用した人材採用。
- ・介護技術の取得。専門職（オムツフitter、看護師等）に依頼し、定期的に研修を受ける。
- ・ヘルパー会議の開催（1回/月）
- ・有給休暇の取得推進（年6日以上）

【 グループホーム くすのき園 】

本年度目標：大きなお家の中で顔馴染みの皆さまと安心してあたたかな暮らしを

その方の歩みに合わせ支えていきます

1. 上質なサービスの提供

- ・入所者様の気持ちを押し量り想いを受け止め職員間で共有し、その方らしい暮らしが続けられるよう支援していく。
- ・「法人理念」や「私たちの誓い」に基づき、一人一人の人権を尊重し、プライバシーに配慮した支援を日常生活の中で日々取り組む。
- ・基本的人権として、人は「幸福を追求する権利」がある。生命が脅かされることなく、人とつながり、安心してその人らしく生きることを支援していく。

2. 経営基盤の強化

- ・入所者様の身体状況の観察と把握をチーム間で共有し連携する体制作りの強化を図る。
- ・感染対策として衛生管理、換気の徹底。
- ・チームケアにおいてPDCAサイクルを構築、実践する。
- ・ICTを活用し業務の効率化・共有化を図る。

3. 地域との関わり

- ・運営推進会議を活かした取り組みを継続していく。
- ・運営推進会議はコロナ禍を鑑み関係者に返信用封筒と意見記入用紙を郵送し、頂いた意見を職員間で共有し、次回の会議にその内容を出来る範囲で関係者と共有していく。
- ・コロナ禍で地域の方々と意図的な交流は見通しが立たないが、日頃から地域の方々に目を向けることを意識し、行動していく。

4. 職員満足度向上

- ・労働安全委員会から出た職場環境の改善についての意見に対し、出来ることから就業環境の改善を行っていく。
- ・定期的な個別面談、隙間時間面談を実施する。
- ・定期的な職員会議の開催、隙間時間を活用した事業所内研修を実施する。
- ・新任者については丁寧なOJTを実施し、双方が学び合い信頼関係を高めていく。
- ・各種研修・オンライン研修受講により、さらなる資格取得を目指す。

【 くすのき保育園 】

本年度目標：保育の専門職としての自覚ある職員の集う保育園づくり

1. 上質なサービスの提供

- ・園での子どもたちの様子を積極的に発信し、コロナ禍でも子どもたちの成長を感じられる機会を設ける。
- ・子ども、職員への過度な負担とならないよう行事内容や進め方の見直しを行う。

2. 経営基盤の強化

- ・令和5年度着工目標の新園舎建設に向け、収益性の高い低年齢児の受け入れ増を目指す。
- ・新設される様々な補助金や加算への適用申請を進める。

3. 地域との関わり

- ・家庭環境に問題（虐待等）を抱える家庭へのアプローチ。（行政機関との密な連携）
- ・コロナ禍で実施できなかった園庭開放の再開を目指し、地域に暮らす未就園児の保護者との関わりを持ち、育児・保育で困ったことがあれば頼ってもらえる存在となる。

4. 職員満足度向上

- ・オンライン研修の活用。
- ・実習生の受け入れを積極的に行い、自園の保育の魅力を伝え入職につなげる。
- ・職員会議やカリキュラム反省会での保育内容の振り返りと改善に努める。
- ・臨床心理士による定期的な園巡回を通じて、様々な子ども・保護者との関わり方を学ぶ。
- ・ノンコンタクトタイムの確保。

【 鈴鹿第4地域包括支援センター わかたけ 】

本年度目標：地域から信頼される包括支援センターを目指します

1. 上質なサービスの提供

- ・地域共生社会の実現に向けセンター職員で目的を共有し、医療・介護・行政等関係機関とのネットワーク体制の強化を図る。
- ・地域住民の相談にはわかりやすい言葉での説明を心掛け、親切・丁寧に対応し総合相談と情報提供の充実を図る。
- ・日頃の実践を通じた専門知識や専門的見解等の視点から必要に応じて研修等に参加する機会を持ち、研修で得た知識や技術をセンター内で共有する。

2. 経営基盤の強化

- ・予算内での事業運営を行い、経費削減に努める。
- ・業務に支障のない範囲内で介護予防ケアマネジメントの直営件数を増やす。業務の一部を指定居宅介護支援事業所に委託する場合は、公正・中立を確保しニーズに資するケアマネジメントが行われるよう必要に応じて助言を行う。

3. 地域との関わり

- ・定期的に地域ケア会議を開催し、地域の課題の抽出・解決に向け協議を行い、地域住民を含めたネットワークを構築していく。
- ・地域の住民や高齢者を含め、多様な担い手が参画する支え合いの体制づくりに努める。
- ・生涯現役のまちづくりを目指し介護予防を推進していく。
- ・定期的に包括だよりを発行し、地域住民に包括支援センターの役割等を発信していく。

4. 職員満足度向上

- ・センター職員がチームで常に相互に情報を共有し、必要に応じてスーパービジョンを実施する。
- ・有給休暇を取得しやすい環境を作り、ワークライフバランスを目指す。
- ・定期的な面談で目標の達成状況や課題について意見交換を行う等人材育成に努める。
- ・月1回センター内会議を行い、情報共有・情報交換を行う。

【 くすのき園 居宅介護支援事業所 】

本年度目標：職員の幸福の追求～歓待の精神で利用者様の生活を幸福に導く～

1. 上質なサービスの提供

- ・ 接遇マナー向上、利用者様の主体性を上げるコミュニケーション技法を習得し信頼関係の構築に努める。
- ・ 年間行事計画に沿った研修会への参加で自己研鑽に努め専門性を高める。
- ・ 事業所内勉強会（1回/週）の開催、他居宅介護支援事業所との合同研修会（4回/年）の参加で情報共有を行い連携を強化する。
- ・ 24時間連絡体制を確保し、利用者等からの緊急時の相談に対応することで安心した生活を提供する。
- ・ 「ご利用者様満足度調査」「サービス事業所アンケート調査」の実施でサービスの向上に努める。
- ・ 困難事例にも積極的に向き合い質の高いケアマネジメントを行う。

2. 経営基盤の強化

- ・ 公正中立で質の高いケアマネジメントの推進・遜減性の緩和・各種加算取得への対応で生産性の向上を図る。
- ・ 行政や近隣の医療機関、介護サービス事業所との地域ネットワークの充実を図る。
- ・ 認定調査の委託件数ケアマネジャー1名、月8件以上を目標とする。
- ・ ケアプラン件数 月230件以上を目標とする。
- ・ 法人内事業所との連携を強化し紹介率40パーセント以上を目標とする。
- ・ BCP(事業継続計画)を策定し事業所内で周知を図り感染症や災害への心構えをもち日々の業務に取り組む。
- ・ 交通規則を遵守し、交通事故ゼロを達成する。

3. 地域との関わり

- ・ 地域包括支援センターとの連携で保健・福祉・医療とのネットワークを構築し、地域社会との繋がりを強化する。
- ・ 介護保険制度によるサービスのみならずインフォーマルサービスを活用し、地域で快適な生活を送れるように継続的に支援していく。
- ・ 行政や近隣の医療機関、介護サービス事業所との地域ネットワークの充実を図る。

4. 職員満足度向上

- ・ 協働意識をもち、互いに思いやりの気持ちを大切にしながら働きやすい職場環境を構築する。
- ・ lon | ミーティングの継続でコミュニケーションを図り、メンタルヘルスケアの実践・チームワークの強化で人材定着に繋げる。
- ・ 有給休暇の取得推進でワーク・ライフバランスの実現を図る。
- ・ リモートワークの推進で働きやすい環境を整備する。

「北部認知症初期集中支援事業」

本年度目標：認知症の方の意思が尊重され、笑顔で自分らしく暮らし

続けることができるよう取り組んでいきます。

1. 上質なサービスの提供

- ・介護職・医療職と専門医が連携を組み、認知症が疑われる方、認知症の人、及びその家族を訪問し、観察・評価を行ったうえで、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活の支援を行う。
- ・担当圏域の地域包括支援センター及び認知症疾患医療センターと連携し情報共有を図る。
- ・認知症初期集中支援事業に係る関係者にアンケート調査を行い、事業の振り返りを行う。
- ・認知症の方の外出支援、見守り・声掛け、話し相手、ご自宅へ伺う出前支援などを行うことで引きこもりがちな生活を未然に防ぐなどの取り組みを行う。(チームオレンジ)

2. 経営基盤の強化

- ・サービスが必要な利用者に対して、迅速に支援ができるように法人内外の事業所と連携を図り、継ぎ目のないサービスに繋げる。
- ・市役所からの委託予算に対して、事業計画に則って予算内での事業運営を行い、経費削減に努める。

3. 地域との関わり

- ・地域住民の方々の通いの場として、地域の方々と連携しながら認知症普及啓発事業を行っていく。
- ・ボランティア、民生児童委員、自治会、学校、職能団体など、あらゆるネットワークを用いて啓発活動を行う。
- ・支援を必要とする方に対し、適切な支援に繋ぎ、継続的な見守りと更なる問題の発生を防止するため、介護サービス事業者や医療機関、地域関係者等で構成する支援マップを活用し、ネットワークを構築する。チーム医、鈴鹿市の情報共有、意見交換を行っていくためにメール、チャットワークなどのICT利活用、チーム員会議、行政会議等で発信していく。

4. 職員満足度向上

- ・リフレクションシートを活用し、個人の目標設定・目標管理を行う。
- ・lonl ミーティングを定期的に行い、個人の抱えている悩みや業務の振り返り等を行うとともに成功事例について承認できる文化を創る。
- ・有給休暇の取得推進を図る。(年6日以上)
- ・他事業所との情報共有・意見交換を行い、法人一丸となって取り組む。
- ・事業所内外の研修に参加し資質の向上に努める。

令和4年度 研修計画

| 月 | 共通 実施日 | 外部研修・WEB研修 | キャリアパス・福利厚生 |
|-----|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------|
| 4月 | ・新任職員研修・中途採用研修（Ⅰ） | ・人事考課 | 職務チェックシート配布 |
| | ①法人理念・運営方針 ②接遇 | ・接遇研修 | ・前年度事業報告会 |
| | ③安全衛生教育 ④防災訓練 | | |
| | ・記録の書き方研修 (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・口腔ケア指導・研修 | |
| 5月 | ・新任職員研修・中途採用研修（Ⅱ） | ・県社協（専門別） | ・メンタルヘルス |
| | ①業務マニュアル②介護と医療 | ・主任介護支援専門員研修 | ・資格取得者お祝い(ソウエル) |
| | ③環境衛生 | ・安全運転管理者講習 | ・歓送迎会、ふれあいの会 |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・口腔ケア指導・研修 | |
| 6月 | ・食中毒予防－食事・栄養・水分 | ・生涯研修（新任職員Ⅰ） | ・健康診断・ストレスチェック |
| | ・権利擁護（身体拘束・虐待） | ・県社協（専門別） | ・腰痛・健康相談 |
| | ・感染予防と対策、シュミレーション | ・県老協総会 | ・前期面談 |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・口腔ケア指導・研修 | |
| 7月 | ・リスクマネジメント（事故予防・再発防止） | ・県社協（専門別） | ・前期面談 |
| | ・ハラスメント対策 | ・災害時HUG訓練（行政・老協） | |
| | ・評価・面談研修 | ・東海北陸ブロック研究大会 | |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・認知症実践者研修 ・口腔ケア指導・研修 | |
| 8月 | ・緊急時の対応 | ・認知症リーダー研修 | ・子供参観(職場体験) |
| | ・県外視察研修（浜松） | ・生涯研修（中堅職員） | |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・口腔ケア指導・研修 | |
| 9月 | ・認知症及び認知症ケア研修 | ・生涯研修（中堅職員） | ・職務の振り返り |
| | ・防災（BCP）研修、非常災害対応 | ・全国老人福祉施設大会 | |
| | ・新任職員研修・中途採用研修（Ⅲ） | ・ノーリフティング研修 | |
| | ①ケアマネジメント②リスクマネジメント | ・生涯研修（指導的職員） | |
| | ③法令遵守・コンプライアンス (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・口腔ケア指導・研修 | |
| 10月 | ・権利擁護（身体拘束・虐待） | ・認知症介護実践者研修 | ・半期報告会（事業所・委員会） |
| | ・医療に関する研修 | ・吸痰吸引研修 | |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・生涯研修（指導的職員） ・口腔ケア指導・研修 | |
| 11月 | ・感染予防と対策、シュミレーション | ・認知症実践リーダー研修 | ・メンタルヘルス |
| | ・県外研修 | ・県社協（生涯研修：初任者）（業種別） | ・感染症セルフチェック |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・福祉避難所運営訓練 ・口腔ケア指導・研修 | ・予防接種 |
| 12月 | ・権利擁護（身体拘束・虐待） | ・認知症実践者研修 | ・行動評価表配布 |
| | ・リスクマネジメント（事故予防・再発防止） | ・老協協（専門） | ・健康診断・腰痛検査 |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・東海北陸ブロックカントリミーティング（福井） ・口腔ケア指導・研修 | ・忘年会・お楽しみ抽選会 |
| 1月 | ・褥瘡とポジショニング | ・老協協研修（職種別） | ・人事考課結果確定 |
| | ・権利擁護（個人情報保護） (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・全国老人福祉施設研究会議 ・口腔ケア指導・研修 | |
| 2月 | ・看取り（ターミナルケア） | ・経営協会計研修 | ・功労者表彰 2/18 |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | ・口腔ケア指導・研修 | ・人材育成面談の実施 |
| 3月 | ・防災（BCP）研修 | ・口腔ケア指導・研修 | ・事業評価と事業目標 |
| | (株)日本経営 組織体制強化支援 | | ・新任者オリエンテーション |

※・外部研修受講後に、施設内報告会を開催する。

※15分・30分 WEB研修

年間行事予定一覧表

| 法人全体 | 法人 人材育成・内外研修 新人職員研修 | 特別養護老人ホーム 歌おう会 オーナメント作り | 短期入所 生活介護事業所 花見(桜) | グループホーム 花見(桜) うどん作り | 居宅介護支援事業所 専門研修課程Ⅰ (5月～8月) 消防訓練 お茶会 おやつバイキング (梅雨) お楽しみ会 季節行事 かき米 | 通所介護事業 季節行事(花見) お茶会 | 訪問介護事業所 居宅介護事業所 広報誌発行 | 認知症初期 集休支援チーム | 地域包括支援センター |
|------|-------------------------------|--|--|---------------------------------------|--|--|-----------------------------|------------------|--|
| 4月 | | | | | | | | | 地域包括支援センター 納庫市全体包括支援センター連絡会議 園城ふれあいサロン講話 年度計画グループ会議 |
| 5月 | 次年度採用の 学校訪問 | 職員歓迎会 職員ふれあいの会 外出 歌おう会 脳トレ | 外出(公園散策) | 花見 (チューリップ) 畑作り | 専門研修課程Ⅰ (5月～8月) 消防訓練 お茶会 おやつバイキング (梅雨) お楽しみ会 季節行事 かき米 | 季節行事 お茶会 | 研修会 | | ミニ事例検討会(すずらん赤飯) 3地区まち巡視会出席 東部民見協定例会 単位老人会講話 園城居宅支援事業所意見交換会 納庫市全体包括支援センター連絡会議 地域ケア会議(長太・箕田・若松) 生活支援新2層会議 東部民見協 単位老人会講話 わかたけだより夏号発行 長太福祉部会議 |
| 6月 | 職員健康診断 医療検査 メンタルヘルスチェック | 前期面談 合同七夕会 七夕ゼリー作り かき米 | 手作りおやつ | 花見 (紫陽花) フラワーアレンジメント | 合同研修会 専門研修課程Ⅱ (7月～12月) かき米 | お楽しみ会 季節行事 かき米 | | | 6月 |
| 7月 | ボランティアの会 | 合同七夕会 七夕ゼリー作り かき米 | 七夕 | 七夕 流し紫陽 カラオケ大会 暑氣払ひ会 | 合同研修会 専門研修課程Ⅱ (7月～12月) かき米 | 季節行事 かき米 | | | 7月 |
| 8月 | 子ども参観日 | 東外視察研修 | 手作りおやつ | 夕涼み パーベキュー | 合同研修会 | 季節行事 (夏祭り) かき米 | | | 8月 |
| 9月 | 中差採用者研修 | 彼声法要 オーナメント作り 介護フェスタ 納庫ブロック交流会 長寿を祝う会(3日) 脳トレ | 外出 (喫茶や買い物) | 花見 (コスモス) | いさいきフェスタ 季節行事 (敬老会・松花堂) | いさいきフェスタ 季節行事 (敬老会・松花堂) | | | 9月 |
| 10月 | 次年度採用の 学校訪問 | 地域中学校交流会 献菓子食べよう会 オーナメント作り 歌おう会 もちつき大会 合同クリスマス会 年末抽選会 脳トレ 誓切め (今年の文字漢字) | 長寿を祝う会 長寿を祝う会 | 長寿を祝う会 ミニ運動会 芋ほり | 合同研修会 | 季節行事 (運動会) お茶会 | | | 10月 |
| 11月 | 職員健康診断 医療検査 | 東外研修 職員健康診断 人考課題 | 紅葉狩り 紅葉子食べよう会 オーナメント作り 歌おう会 もちつき大会 合同クリスマス会 年末抽選会 脳トレ 誓切め (今年の文字漢字) | (外食) ドライブ | 主任介護支援専門員研修 (11月～3月) | お楽しみ会 消防訓練 お茶会 | | | 11月 |
| 12月 | 職員健康診断 医療検査 | 職員健康診断 人考課題 | もちつき大会 合同クリスマス会 年末抽選会 脳トレ 誓切め (今年の文字漢字) | クリスマス会 手打ちそば 歳志会 フラワーアレンジメント | 合同研修会 | 季節行事 (クリスマス会) おやつバイキング クリスマス | | | 12月 |
| 1月 | 永年勤続表彰 | ファイバードバック面談 新規採用 オリエンテーション 中長期計画発表会 | 初詣 新年を祝う会 初詣 | 初詣 新年を祝う会 初詣 | 合同研修会 | 季節行事 (初詣) (ビンゴ大会) (松花堂) 季節行事 (節分) おやつバイキング (パレンタイン) | | | 1月 |
| 2月 | | | 節分 豆まき うどん作り 花見(梅) | 節分 豆まき うどん作り 花見(梅) | 合同研修会 | 季節行事 (節分) おやつバイキング (パレンタイン) | | | 2月 |
| 3月 | | | 彼声法要 保育園お別れ会 | 歳祭り 花見(桜) | 合同研修会 | 季節行事 (梅の節句) 保育園卒園お祝い 手作りおやつ (ホワイトデー) | | | 3月 |
| 毎月 | ノー残業デー 防災訓練 | 実践検討会 lon1ミーティング 他部署面談 各課委員会 例日本経営 組織強化支援 | 脳生会 | お茶会 | ミーティング 園内研修 誕生会・趣味活動 | ミーティング お茶会 | | | 毎月 |